

「魚食の普及推進に関する条例の制定について」

（農林水産振興部 水産振興課）

本日の定例記者会見は農林水産振興部、総合政策部から2件となります。

1件目は、魚食の普及推進に関する条例の制定に向けた準備について、お知らせします。

ご承知のとおり、下関市は、ふく・くじら・あんこうといった、全国的に知名度の高い水産ブランドを擁し、一年を通じて「美味しい魚」が豊富に食べられる環境にある一方で、近年の食の多様化やライフスタイルの変化などにより、「魚離れ」の傾向がより一層加速化しています。

このような中、本年1月に、本市水産業界で中心的な役割を担われている複数の団体から、市民・事業者・行政、そして地域が一体となって、魚消費を盛り上げていくため、「魚食の普及推進に関する条例」の早期制定の要望書をいただきました。これを受け、漁協、水産、飲食等に関わる団体様に、多方面にわたりご意見を伺ったところ、条例制定の意義について、強い賛同の意を頂戴しました。

以上のことから、お手元の資料に記載しておりますスケジュールで条例制定に向け進めてまいりたいと考えております。

また、施行日につきましては、本年10月の「第74回全国漁港漁場大会」の開催日に合わせ、10月15日を予定しております。

本市といたしましては、この条例の制定を契機に、栄養価の高い魚食による健康推進を通じた消費の喚起、更には、魚食文化の継承による郷土愛の醸成へとつなげ、市民が誇れる「水産都市・下関」となるよう、官民連携して取り組んでまいります。

この件については、以上です。

「唐戸朝市の開催について」

(総合政策部 共創イノベーション課)

続きまして、カイキョーリボーンプロジェクト社会実験についてお知らせします。

本市では、令和5年2月に策定した「あるかぼーと・唐戸エリアマスタープラン」で掲げる「日本を代表するウォーターフロントシティ」を実現するため、カイキョーリボーンプロジェクト社会実験の第5弾として、唐戸市場において「唐戸朝市」を実施いたします。

実施の目的や期間につきましてはお手元の資料をご確認ください。

朝市では、日替わり鮮魚の特価販売を始め、青果、食料品、フク汁の販売などの様々なイベントを予定しております。また、今回の朝市の目玉といたしましては、水槽からお気に入りの魚を選んでいただき、販売するだけでなく、その場で魚を捌くサービスも行う予定です。朝市の最新情報はホームページやSNSで随時発信しておりますので、ぜひご覧ください。

また、この朝市開催を機に唐戸市場の公式LINEを開設し、唐戸市場のお得情報や魚の捌き方などの動画を配信していく予定です。公式LINE登録者には大変お得な特典をご用意しているとのことですので、ぜひ、公式LINE登録のうえ、朝市にお越しただけたらと思います。

私も6月2日は早起きをして朝市を見て回る予定にしております。皆さんも期間中は是非早起きをしていただいて、お寿司ではなく、新鮮ないい魚が豊富に揃っている唐戸市場の活気を体感していただきたいと思います。

本日の記者会見は以上です。